



平成29年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年7月5日

上場会社名 川口化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4361 URL http://www.kawachem.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田吉隆
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長 (氏名) 荻野幹雄 (TEL) 048-222-5171
 四半期報告書提出予定日 平成29年7月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年11月期第2四半期の連結業績 (平成28年12月1日～平成29年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年11月期第2四半期	3,548	16.7	179	—	175	—	125	—
28年11月期第2四半期	3,039	△7.9	△49	—	△57	—	△96	—

(注) 包括利益 29年11月期第2四半期 132百万円(—%) 28年11月期第2四半期 △111百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年11月期第2四半期	10.30	—
28年11月期第2四半期	△7.96	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年11月期第2四半期	6,117	1,660	27.1
28年11月期	5,723	1,527	26.7

(参考) 自己資本 29年11月期第2四半期 1,660百万円 28年11月期 1,527百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年11月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年11月期	—	0.00	—	—	—
29年11月期(予想)	—	—	0.00	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年11月期の連結業績予想 (平成28年12月1日～平成29年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,930	7.7	240	153.2	230	168.2	170	393.8	13.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 — 社 除外 — 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

29年11月期2Q	12,200,000株	28年11月期	12,200,000株
29年11月期2Q	21,048株	28年11月期	20,888株
29年11月期2Q	12,179,059株	28年11月期2Q	12,179,112株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界の景気は、一部に改善の遅れが見られるものの米国の回復継続や中国の景気拡大の継続により、全体では緩やかに回復しました。国内においては個人消費や設備投資は持ち直しの動きが継続し、企業収益や雇用情勢の改善もあり、緩やかな回復基調が継続しました。

当社の関連する自動車業界においても、国内の自動車生産台数は前年同期比増加で推移し、工業用品の生産においても前年同期を上回りました。また、タイヤ並びに合成ゴムの生産は前年並みで推移しました。

このような環境の中、市場の緩やかな回復に対し、既存事業の拡販、内外の新規顧客の開拓受注獲得に注力した結果、日本国内向け、海外向けともゴム薬品の販売が前年同期を上回りました。

樹脂薬品、中間体、その他薬品についても、新規製品を中心に積極的な販売活動を行った結果、新規開発品の受注が堅調に推移し、既存顧客も販売増加したことから、それぞれの業種において売上高が前年同期を上回りました。

原材料においては、為替が円安に転じ、原油価格が昨年比で上昇したことにより製品原価の上昇傾向が見られました。この影響を最小限とするため、内外の新規調達先の探索や評価を積極的に行うとともに、生産においては回復傾向にあるゴム薬品の需要増や、変化する顧客要望に 대응するため、全社をあげて柔軟な生産対応を行いました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は35億48百万円（前年同期比16.7%増）、営業利益は1億79百万円（前年同期は49百万円の損失）、経常利益は1億75百万円（前年同期は57百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1億25百万円（前年同期は96百万円の損失）となりました。

セグメントの業績の概況は次のとおりであります。

①化学工業薬品事業

売上高は35億30百万円（前年同期比16.3%増）、セグメント利益（営業利益）は1億66百万円（前年同期は53百万円の損失）となりました。

②不動産賃貸事業

売上高は17百万円（前年同期比330.3%増）、セグメント利益（営業利益）は13百万円（前年同期比307.0%増）となりました。

(化学工業薬品事業の部門別の概況)

<ゴム薬品>

ゴム薬品の分野は、国内につきましては、当第2四半期においても国内自動車販売及び生産が前年同期と比較し、増加傾向で推移しました。このような環境の中、この市場の回復による顧客の需要増に対応するとともに、加硫促進剤や加硫剤の主力商品の拡販活動に注力した結果、工業用製品・タイヤ向け並びに合成ゴム向け薬品につきまして、前年同期を上回る売上となりました。

輸出につきましては、東南アジアの顧客において回復傾向が見られたことと、当第2四半期においても為替が円安で継続したことから、この地域の受注の拡大により一層拡販努力を行い、前年同期を上回りました。

この結果、国内・輸出合わせてのゴム薬品の売上は、21億85百万円（前年同期比14.2%増）となりました。

<樹脂薬品>

樹脂薬品の分野は、国内につきまして、アクリル酸・アクリル酸エステルが生産が回復傾向となりましたが、主要製品において輸入品との競合がさらに激しくなりました。この市場環境の変化に対し、積極的に販売活動を行った結果、主要品目で販売数量を伸ばしたことから、国内の販売数量売上は前年同期を上回りました。

輸出につきましては、中国をはじめとする既存顧客が回復傾向となったことや、為替が円安で推移したことから既存顧客に対する積極的に拡販活動を行った結果、販売数量売上とも前年同期を上回りました。

この結果、樹脂薬品部門合計の売上は4億5百万円（前年同期比14.3%増）となりました。

<中間体>

中間体部門におきましては、界面活性剤中間体は品目により増減がありましたが、全体では売上が前年同期を下回りました。染料中間体及び農薬中間体は主要品目におきまして顧客の需要変動に合わせ積極的な生産販売を行った結果、全体として前期同期比で売上が増加しました。

医薬中間体・機能性化学品は、海外向けで顧客の需要減少と他社との競合により売上減となりました。しかしながら、主要品目において拡販に注力し、新規顧客を獲得したことから国内の売上が増加し、全体では売上が前年同期を上回りました。

この結果、中間体部門合計の売上は4億36万円（前年同期比41.9%増）となりました。

<その他>

環境用薬剤は客先の在庫調整による影響と当社納入先における他社との競合により、売上が前年同期を下回りました。潤滑油向けは品目により増減がありましたが、前年同期並みの売上となりました。新規用途向けは新規商品の販売が堅調に推移し、既存の主要製品の売上も増加したことから、一部品目で売上減となったものの、全体では売上が前年同期を上回りました。

この結果、この部門合計の売上高は5億3百万円（前年同期比9.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産につきましては61億17百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億93百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が2億15百万円、たな卸資産が1億55百万円増加したことによります。

負債につきましては44億57百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億61百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が1億97百万円、賞与引当金が20百万円、流動負債その他の未払費用が31百万円増加したことによります。

純資産につきましては16億60百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億32百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が1億25百万円増加したことによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2億15百万円増加（前年同期は1億33百万円の減少）し、9億26百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、税金等調整前四半期純利益、売上債権の減少、仕入債務の増加等による資金の増加により4億75百万円の収入（前年同期は0百万円の支出）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、有形固定資産の取得による支出等により1億87百万円の支出（前年同期は1億6百万円の支出）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、長期借入れによる収入に対し、借入金の返済等による支出により71百万円の支出（前年同期は23百万円の支出）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年11月期の連結業績予想につきましては、本日公表いたしました「平成29年11月期第2四半期連結業績予想数値及び通期業績予想数値の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	710,436	926,346
受取手形及び売掛金	2,259,898	2,164,240
商品及び製品	561,104	612,297
仕掛品	244,619	274,893
原材料及び貯蔵品	198,694	272,768
その他	51,798	53,035
貸倒引当金	△2,261	△2,164
流動資産合計	4,024,289	4,301,418
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	764,009	759,758
その他(純額)	689,202	813,607
有形固定資産合計	1,453,211	1,573,366
無形固定資産		
その他	15,974	13,909
無形固定資産合計	15,974	13,909
投資その他の資産		
その他	232,064	230,340
貸倒引当金	△1,615	△1,515
投資その他の資産合計	230,448	228,824
固定資産合計	1,699,634	1,816,100
資産合計	5,723,924	6,117,518
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	951,773	1,149,058
短期借入金	1,060,000	910,000
1年内返済予定の長期借入金	28,044	261,644
未払金	250,206	288,217
未払法人税等	7,563	32,331
未払消費税等	28,052	16,532
賞与引当金	—	20,416
役員賞与引当金	—	6,000
その他	169,177	218,882
流動負債合計	2,494,816	2,903,082
固定負債		
長期借入金	1,125,303	977,681
役員退職慰労引当金	70,798	74,585
退職給付に係る負債	332,628	336,674
その他	172,406	165,471
固定負債合計	1,701,136	1,554,412
負債合計	4,195,953	4,457,494

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	610,000	610,000
資本剰余金	58,437	58,437
利益剰余金	839,323	964,752
自己株式	△7,550	△7,575
株主資本合計	1,500,210	1,625,615
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	18,181	24,876
為替換算調整勘定	9,579	9,532
その他の包括利益累計額合計	27,760	34,409
純資産合計	1,527,971	1,660,024
負債純資産合計	5,723,924	6,117,518

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)
売上高	3,039,832	3,548,292
売上原価	2,645,447	2,879,560
売上総利益	394,385	668,732
販売費及び一般管理費	444,223	488,898
営業利益又は営業損失(△)	△49,838	179,833
営業外収益		
受取利息	308	281
受取配当金	436	496
貸倒引当金戻入額	87	197
その他	3,183	2,577
営業外収益合計	4,015	3,552
営業外費用		
支払利息	7,032	6,342
為替差損	4,331	156
その他	312	1,095
営業外費用合計	11,676	7,593
経常利益又は経常損失(△)	△57,499	175,791
特別損失		
固定資産除却損	437	216
減損損失	51,112	—
特別損失合計	51,549	216
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△109,049	175,575
法人税、住民税及び事業税	620	22,901
法人税等調整額	△12,677	27,245
法人税等合計	△12,057	50,146
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△96,991	125,428
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△96,991	125,428

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△96,991	125,428
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△11,082	6,695
為替換算調整勘定	△3,429	△46
その他の包括利益合計	△14,511	6,648
四半期包括利益	△111,502	132,077
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△111,502	132,077
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年12月1日 至平成28年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年12月1日 至平成29年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△109,049	175,575
減価償却費	145,858	129,173
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△87	△197
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	59,575	4,045
賞与引当金の増減額(△は減少)	—	20,416
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	—	6,000
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△11,246	3,787
受取利息及び受取配当金	△745	△777
為替差損益(△は益)	△135	301
支払利息及び社債利息	7,032	6,337
固定資産除却損	437	216
減損損失	51,112	—
売上債権の増減額(△は増加)	88,595	95,657
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,086	△155,541
仕入債務の増減額(△は減少)	△139,621	187,160
未払消費税等の増減額(△は減少)	△26,163	△12,395
その他	△54,705	24,474
小計	6,771	484,234
利息及び配当金の受取額	745	777
利息の支払額	△7,054	△6,220
法人税等の支払額	△526	△3,282
営業活動によるキャッシュ・フロー	△64	475,508
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△109,727	△190,889
貸付金の回収による収入	—	684
その他	2,796	2,829
投資活動によるキャッシュ・フロー	△106,931	△187,375
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△180,000	△150,000
長期借入れによる収入	380,000	100,000
長期借入金の返済による支出	△217,222	△14,022
リース債務の返済による支出	△5,611	△7,780
自己株式の取得による支出	△76	△24
配当金の支払額	△194	△47
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,104	△71,875
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,293	△347
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△133,393	215,910
現金及び現金同等物の期首残高	662,037	710,436
現金及び現金同等物の四半期末残高	528,644	926,346

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成27年12月1日 至 平成28年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,035,710	4,122	3,039,832	—	3,039,832
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,035,710	4,122	3,039,832	—	3,039,832
セグメント利益又は損失(△)	△53,173	3,335	△49,838	—	△49,838

(注) セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(単位：千円)

	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	全社・消去	合計
減損損失	—	51,112	—	51,112

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成28年12月1日 至 平成29年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品事業	不動産賃貸事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,530,555	17,737	3,548,292	—	3,548,292
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,530,555	17,737	3,548,292	—	3,548,292
セグメント利益	166,257	13,576	179,833	—	179,833

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、従来、「有機化学工業薬品事業」の単一セグメントでありましたが、重要性が増加した「不動産賃貸事業」を前連結会計年度より報告セグメントに追加し、「化学工業薬品事業」及び「不動産賃貸事業」の2区分に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。